

カラダで感じるよこすかの魅力

まずは横須賀市の現状についてお聞かせください。

吉田 現在、横須賀市が抱えている課題の一つとして、転出超過の問題があります。とくに20代、30代の転出者が目立つこ

とから、子育て環境や教育環境の充実に取り組みたいと思います。

たごは、保育所に入れない待機児童数の「ゼロ」を目指して、保育所の整備などを進めています。また、里山の田んぼ

横須賀市民が感じる横須賀の魅力とは。

上関 私は横浜生まれの横浜育ちですが、現在は横須賀市民です。横浜は非常に住み心地が良く、住めば住むほど好きになるまちです。し

かし、横須賀のきれいな風景、温暖な気候、そして海の幸のおいしさにも心かかれて、移り住むことにしました。

主役は子ども 目指すまちづくり

吉田 吉田市政として2期目となりますが、今後の展望をお聞かせください。

吉田 子育て世帯をま

疑問を感じています。今の子どもは、携帯やネットでのつながりを持ってどこか安心感を抱いてしまい、肝心の危険を回避する能力が低下しているのではないかと心配です。

吉田 子ども時代に自然と触れ合うことはとても大切なことです。幸いなことに横須賀には海も山もあるの、この強みを生かして、子どもたちが外へ出て行くように啓発したいです。

また、小児医療費無料化については、これまで小学2年生までが対象でしたが、4月から3年生まで拡大します。私の任期のうちに上限を6年生まで引き上げることを目標としています。

このように、子育て世帯だからこそ受けられる特典をまち全体で用意して、それを外へも積極的に発信していこうと考えています。その際のイメージは、「子どもが主役になれるまち」です。例えば、身長160センチと100センチでは見えるまち並みが違うように、視点を低くして、行政サービスや公共施設のあり方を見直して発信していきたいです。

また、国際化社会の進展から子どもたちの英語力向上を見据えて、横須賀市では英語を母語とする教師(ALETS)を小学校全校に配属しています。こういう取り組みをもっと知ってもらえるように働きかけたいと考え

うに働きたいと考えています。

上関 全国共済は、神奈川県では「助けあいの心」から生まれた保障制度で、文字通り全国39都道府県グループの一つで、非営利団体として事業を展開しています。

いざという時の備えとして、0歳から85歳までいくつもの年齢層で区切られたその中では、男女の区別なく「一律掛金・一律保障」であることが最大の特長です。満18歳から満64歳の方が申し込める保障には、入院・死亡双方の保障をバランスよく備えた「総合保障型」と、入院・手術など医療保障が手厚い「入院保障型」があります。また、0歳から満17歳の子どもたちを守る「こども型」、満65歳から満69歳の方には「熟年型」「熟年入院型」があり、85歳まで自動継続されます。

一般の保険がタクシーだとすれば、共済はバスのようなもので、止まる停留所は決まっていますが、一律の安い掛け金で保障が受けられる制度です。

全国共済とはどのような制度ですか。

上関 全国共済は、神奈川県では「助けあいの心」から生まれた保障制度で、文字通り全国39都道府県グループの一つで、非営利団体として事業を展開しています。

いざという時の備えとして、0歳から85歳までいくつもの年齢層で区切られたその中では、男女の区別なく「一律掛金・一律保障」であることが最大の特長です。満18歳から満64歳の方が申し込める保障には、入院・死亡双方の保障をバランスよく備えた「総合保障型」と、入院・手術など医療保障が手厚い「入院保障型」があります。また、0歳から満17歳の子どもたちを守る「こども型」、満65歳から満69歳の方には「熟年型」「熟年入院型」があり、85歳まで自動継続されます。

一般の保険がタクシーだとすれば、共済はバスのようなもので、止まる停留所は決まっていますが、一律の安い掛け金で保障が受けられる制度です。

全国共済とはどのような制度ですか。

上関 全国共済では子どもの電話相談「チャイルド」



上関 康樹 全国共済理事長

善意のお節介りで子どもと接点を

全国共済は非営利団体です。お預かりした掛け金は組合員の皆さまに保障というところで役に立っていただくことが基本ですが、剰余金は、割戻金として8月にお戻しをして家計負担の軽減を図っています。さらに、未来ある子どもたちのスポーツや文化活動を支援し、併せて地域を元気にすることに力を入れています。その結果、子どもたちの笑顔が戻ってくる、大変うれしく思います。

地域の企業・団体にはどこまでいいですか。

吉田 地域の企業・団体の皆さまには子育て支援を使命のひとつとしてとらえて、ご協力いただきたいと思います。

子育てするならよこすかのまち

「子育て世代にメッセージ」

吉田 横須賀市では、生後4カ月までの乳児のいる世帯へは保健師や助産師が必ず家庭訪問を行い、保護者がいつでも相談できるような態勢をとっています。子育てに不安なときも一人じゃないと実感できると思います。

そうして、「子育てするなら横須賀」と言われるよう、さらに取り組みを強めていきたいと考えています。

上関 全国共済では子どもの電話相談「チャイルド」

子どもたちが子どもだけの世界に閉じこもらないように、大人の皆さまには積極的に子どもとかわりを持つように心がけてほしいです。たとえば、ケンカしていたり、夜遅く出歩いたりする子どもがいれば、大人から自然と声をかけるような、善意から入る皆さまの「お節介り」に期待しています。

現在、児童養護施設などに預けられている8割の子どもの場合は虐待を受けています。何の罪もない彼らが施設を卒業した後、幸せになれるように生活面だけでなく勉強面でも支えていけるように、家庭教師をつけるなど、行政としても対策を考えています。

上関 微力ながら、全国共済は地域のお祭りや、行政のイベントにも協賛させていただいており、横須賀の「パレード」や「追浜マラソン」、乗物フェスタなどです。今後の取り組みとして、今の子どもが本を読む機会が減っていることもあり、病院や養護施設への本の寄贈ができるように働きかけたいと考えています。

「子育て世代にメッセージ」

吉田 横須賀市では、生後4カ月までの乳児のいる世帯へは保健師や助産師が必ず家庭訪問を行い、保護者がいつでも相談できるような態勢をとっています。子育てに不安なときも一人じゃないと実感できると思います。

そうして、「子育てするなら横須賀」と言われるよう、さらに取り組みを強めていきたいと考えています。

上関 全国共済では子どもの電話相談「チャイルド」

まちぐるみで応援！ がんばれ子育て世帯

横須賀市は子育て世帯への入居支援策の実践、4月からは小児医療費の無料化の拡充など、子育て世帯への支援が充実する一方で、転出者の増加問題も抱えている。吉田雄人横須賀市長と全国共済神奈川県生活協同組合（全国共済）の上関康樹理事長が、子育て支援の姿勢や今後の展望について話し合った。

※文中敬称略

吉田 雄人 横須賀市長 / 上関 康樹 全国共済理事長

(司会)古賀 敬之 神奈川新聞社企画編集部長

企画・制作/神奈川新聞社横須賀支社



横須賀市が抱えている課題の一つとして、転出超過の問題があります。とくに20代、30代の転出者が目立つこ

かし、横須賀のきれいな風景、温暖な気候、そして海の幸のおいしさにも心かかれて、移り住むことにしました。

横須賀市民が感じる横須賀の魅力とは。

私は横浜生まれの横浜育ちですが、現在は横須賀市民です。横浜は非常に住み心地が良く、住めば住むほど好きになるまちです。し

疑問を感じています。今の子どもは、携帯やネットでのつながりを持ってどこか安心感を抱いてしまい、肝心の危険を回避する能力が低下しているのではないかと心配です。

子ども時代に自然と触れ合うことはとても大切なことです。幸いなことに横須賀には海も山もあるの、この強みを生かして、子どもたちが外へ出て行くように啓発したいです。

また、小児医療費無料化については、これまで小学2年生までが対象でしたが、4月から3年生まで拡大します。私の任期のうちに上限を6年生まで引き上げることを目標としています。

このように、子育て世帯だからこそ受けられる特典をまち全体で用意して、それを外へも積極的に発信していこうと考えています。その際のイメージは、「子どもが主役になれるまち」です。例えば、身長160センチと100センチでは見えるまち並みが違うように、視点を低くして、行政サービスや公共施設のあり方を見直して発信していきたいです。

また、国際化社会の進展から子どもたちの英語力向上を見据えて、横須賀市では英語を母語とする教師(ALETS)を小学校全校に配属しています。こういう取り組みをもっと知ってもらえるように働きかけたいと考え

うに働きたいと考えています。

上関 全国共済は、神奈川県では「助けあいの心」から生まれた保障制度で、文字通り全国39都道府県グループの一つで、非営利団体として事業を展開しています。